

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393600057
事業所名	グループホームえんなり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	前年度の課題の1つにあげられていたが今だに充分とは言えない。運営会議には地域の役員が毎回参加し地域の情報は入ってきており、祭りや行事に参加しているが、ホームからの地域への積極的な働きかけが少ない。日常生活の中での散歩や買い物途中での挨拶は出来ているが回数は多くない。	×
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回開催されている。地域の役員や家族が必ず出席している。地域の行事や情報、提案を受けホームの状況の報告や対応策を報告している。家族が必ず参加する事で、家族側の要望や情報を地域住民にも知らせる事が出来ている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価：4）	評価
	運営推進会議の報告や連絡、相談は主に電話やメールで行っている。市主催の介護関連の行事に施設紹介のブースを設置した事がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	定期的な家族会は開催されていないが推進会議後に参加家族と面談する時間を設ける事がある。又家族の面会時、面談し家族の要望を受けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	—	—	—	○	×	×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。